

2026年4月10日

ヤクルトのロングセラーブランド「ヤクルト400」「ヤクルト400LT」をリニューアル！
免疫機能維持と腸内環境改善を表示した機能性表示食品
「ヤクルト400免疫腸活」「ヤクルト400LT免疫腸活」を発売

株式会社ヤクルト本社（社長 成田 裕）は、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト400」および「ヤクルト400LT」を免疫機能維持と腸内環境改善を表示した機能性表示食品として、「ヤクルト400免疫腸活」および「ヤクルト400LT免疫腸活」にリニューアルし、2026年6月1日に発売します。

当社は、企業理念に基づき、免疫領域を重要な研究分野として位置づけ、乳酸菌を通じた免疫調節機能の研究に長年取り組んできました。両商品は、これらの研究成果を基盤とし、長期ビジョンで目指す「ヘルスケアカンパニーへの進化」および中期経営計画（2025－2030）で掲げた「新たな機能追究」のための研究開発強化の方針を具体化した商品であり、今後、当社が免疫領域に関する商品施策を進めるうえでの重要な足掛かりとなります。

今回のリニューアルでは、長年にわたる乳酸菌 シロタ株の腸内環境改善に関する研究で培ってきた知見とともに、新たに明らかになった免疫機能に着目し、これらの価値を合わせた「免疫腸活」を新たな商品名に加え、「ヤクルト400免疫腸活」および「ヤクルト400LT免疫腸活」として展開することで、ヤクルトブランドの付加価値をさらに高め、売り上げ拡大につなげます。

また、「ヤクルト400免疫腸活」および「ヤクルト400LT免疫腸活」の発売に伴い、「ヤクルト400」および「ヤクルト400LT」は終売します。

なお、「ヤクルト400免疫腸活」および「ヤクルト400LT免疫腸活」の2026年6月から2027年3月までの合計販売目標は1日あたり1,271千本です。



【商品特長】

〔共通〕

- ヤクルト独自の乳酸菌 シロタ株が1本（80ml）に400億個含まれています。
- 乳酸菌 シロタ株による健康な人の免疫機能維持に役立つ機能および腸内環境改善の機能があることが報告されています。

〔ヤクルト400免疫腸活〕

- 乳酸菌 シロタ株を機能性関与成分とした機能性表示食品です。（届出番号：K683）

＜機能性表示＞

本品には乳酸菌 シロタ株（L. カゼイ YIT 9029）が含まれるので、樹状細胞（cDC）に働きかけ健康な人の免疫機能の維持に役立つ機能があります。さらに、乳酸菌 シロタ株（L. カゼイ YIT 9029）には、腸内環境を改善する機能があることが報告されています。

〔ヤクルト400LT免疫腸活〕

- 「ヤクルト400免疫腸活」の基本設計をベースに、カロリーを30%カットし、甘さひかえめに仕上げています。
- 乳酸菌 シロタ株を機能性関与成分とした機能性表示食品です。（届出番号：K759）

＜機能性表示＞

本品には乳酸菌 シロタ株（L. カゼイ YIT 9029）が含まれます。乳酸菌 シロタ株（L. カゼイ YIT 9029）には、樹状細胞（cDC）に働きかけ健康な人の免疫機能の維持に役立つ機能、腸内環境を改善する機能があることが報告されています。

- ・本品は、特定保健用食品と異なり、機能性および安全性について国による評価を受けたものではありません。届け出られた科学的根拠などの情報は消費者庁のウェブサイトで確認できます。
- ・医薬品ではありません。
- ・多量に摂取することにより、疾病が治癒したり、より健康が増進するものではありません。
- ・食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

【商品情報】

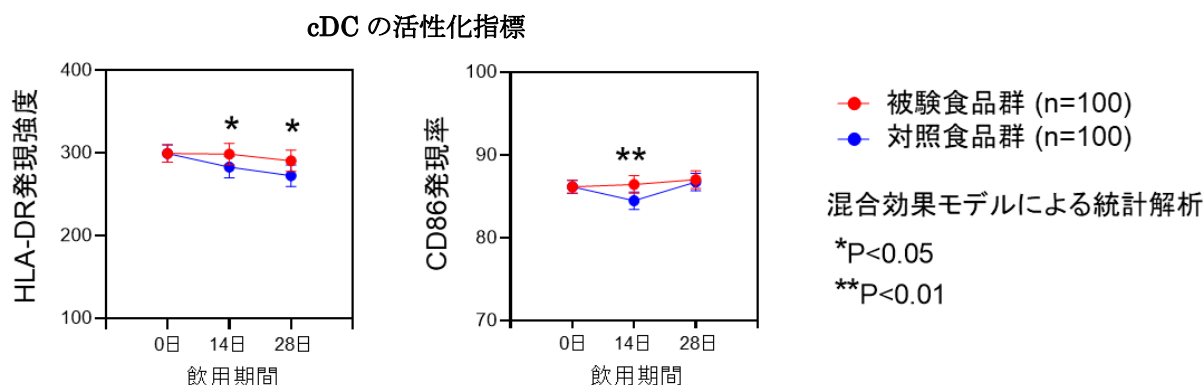
商品名	「ヤクルト400免疫腸活」	「ヤクルト400LT免疫腸活」
商品分類	乳製品乳酸菌飲料	
内容量	80ml／本	
希望小売価格 (税抜)	80円／本、560円／7本パック	
販売チャネル	ヤクルトレディによる訪問販売	

<参考資料1：乳酸菌 シロタ株の免疫機能維持機能について>

1. 健常な成人男女200名（23～59歳）をランダムに2群に分け、被験食品群には乳酸菌シロタ株（L. カゼイ YIT 9029）を400億個含む飲料を、対照食品群には乳酸菌シロタ株（L. カゼイ YIT 9029）を含まない飲料を、1日1本（80ml）、4週間摂取してもらい、免疫応答の起点となる樹状細胞（cDC、conventional DC）^{※1}の活性化指標（HLA-DR^{※2}、CD86^{※2}）を測定しました。本試験はランダム化二重盲検並行群間比較試験として実施されました。
2. その結果、cDCのHLA-DRの発現強度は、対照食品群と比較して摂取2週目・4週目で被験食品群が有意に高値を示し、CD86の発現率は、対照食品群と比較して摂取2週目で被験食品群が有意に高値を示し、cDCの活性化が確認されました。

※1 従来型樹状細胞。抗原提示により下流の免疫細胞を活性化する。

※2 cDCの細胞表面に発現するタンパク質であり、cDCの活性化を示す指標。



<出典>

Naito T, et al. *Lactocaseibacillus paracasei* strain Shirota suppresses upper respiratory tract infections and activates mononuclear phagocytic cells in healthy Japanese office workers: a randomized, double-blind, controlled trial. *Biosci Microbiota Food Health*. 2025, 44(3), 215–226.

《データ選択理由》

- ・「ヤクルト400免疫腸活」は製品評価、「ヤクルト400LT免疫腸活」は成分評価です。
 - ・「ヤクルト400LT免疫腸活」は研究レビューの対象となった論文のうち、代表的なデータを事例として提示しています。
- なお、本試験は「ヤクルト400LT免疫腸活」を用いた臨床試験ではありません。

<参考資料2：乳酸菌 シロタ株の摂取による免疫機能維持作用のメカニズム（仮説）>
摂取された「乳酸菌 シロタ株」が cDC にはたらきかけ、cDC を活性化する。さらに cDC が起点となり、下流に位置する感染防御にはたらく免疫細胞に作用して免疫機能全体にはたらきかけ、健康な人の免疫機能の維持に役立つ。

